

医薬品商品名及び成分把握に 関する医師調査

チャート集

2008年11月調査実施

(2009年1月16日作成)

1. 調査概要

- (1) 調査目的
- (2) 調査設計・回収状況
- (3) 調査項目
- (4) 調査主体
- (5) 実施調査機関
- (6) 調査内容・フロー

2. 回答者属性

3. 調査結果(単純集計)

4. 調査結果(クロス集計)

- (1) 医薬品の商品名について
- (2) 医薬品の成分について

1. 調査概要

(1) 調査目的

日常診療業務において、医師が医薬品による有害事象を疑う症例のうち医薬品商品名及び成分の情報把握の程度を調査することを目的とする。

(2) 調査設計・回収状況

- [調査対象] この1ヶ月間に病院で夜間当直を行った病院勤務医師
(当直関連の調査とのオムニバス調査として実施)
- [調査期間] 2008年11月11日(火)～11月17日(月)
- [調査方法] クローズド・インターネット調査
- [依頼方法] 電子メール
- [依頼回数] 2回(11月11日、11月14日)
- [有効配信数] 1,716名
- [アクセス数] 280名
- [回答者数] 226名
- [アクセスモニター回答率] 80.7%

(3) 調査項目

- ・ 回答者属性（性別、年齢、主たる診療科、勤務先の病床数、救急機能、経営形態）
- ・ 医薬品商品名不明の割合
- ・ 医薬品成分不明の割合

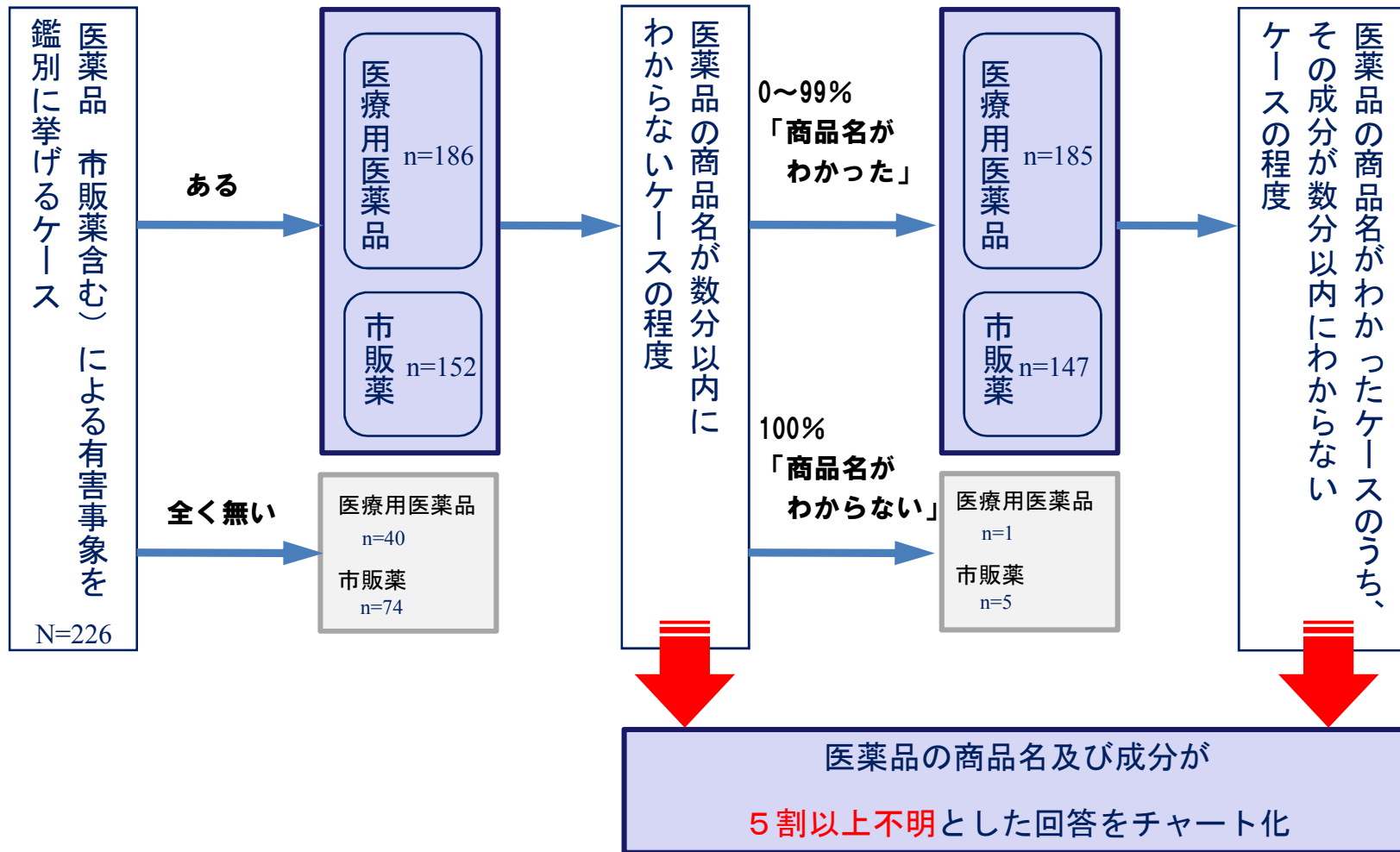
(4) 調査主体

株式会社プラメド

(5) 実施調査機関

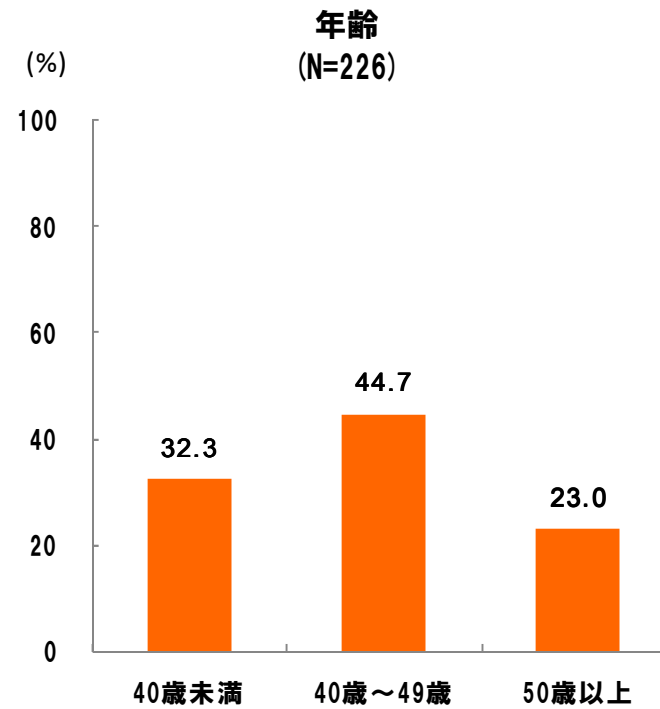
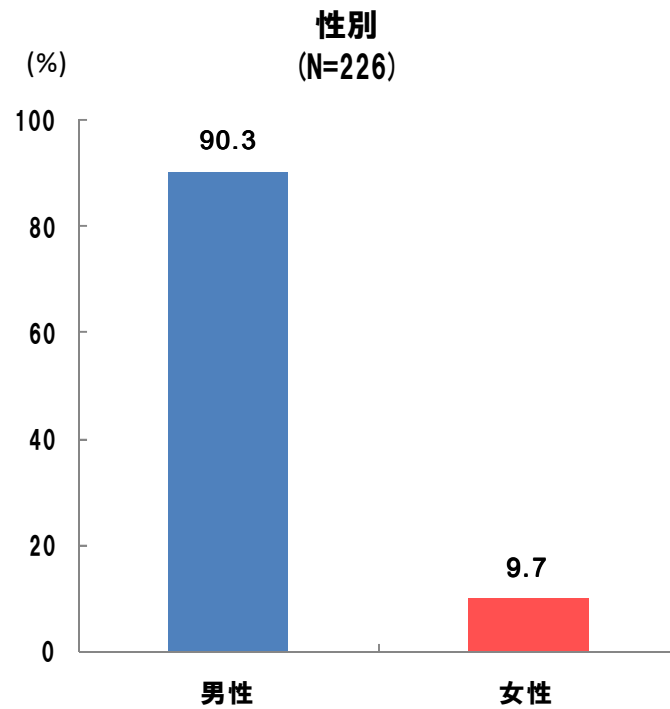
株式会社プラメド

(6) 調査内容・フロー

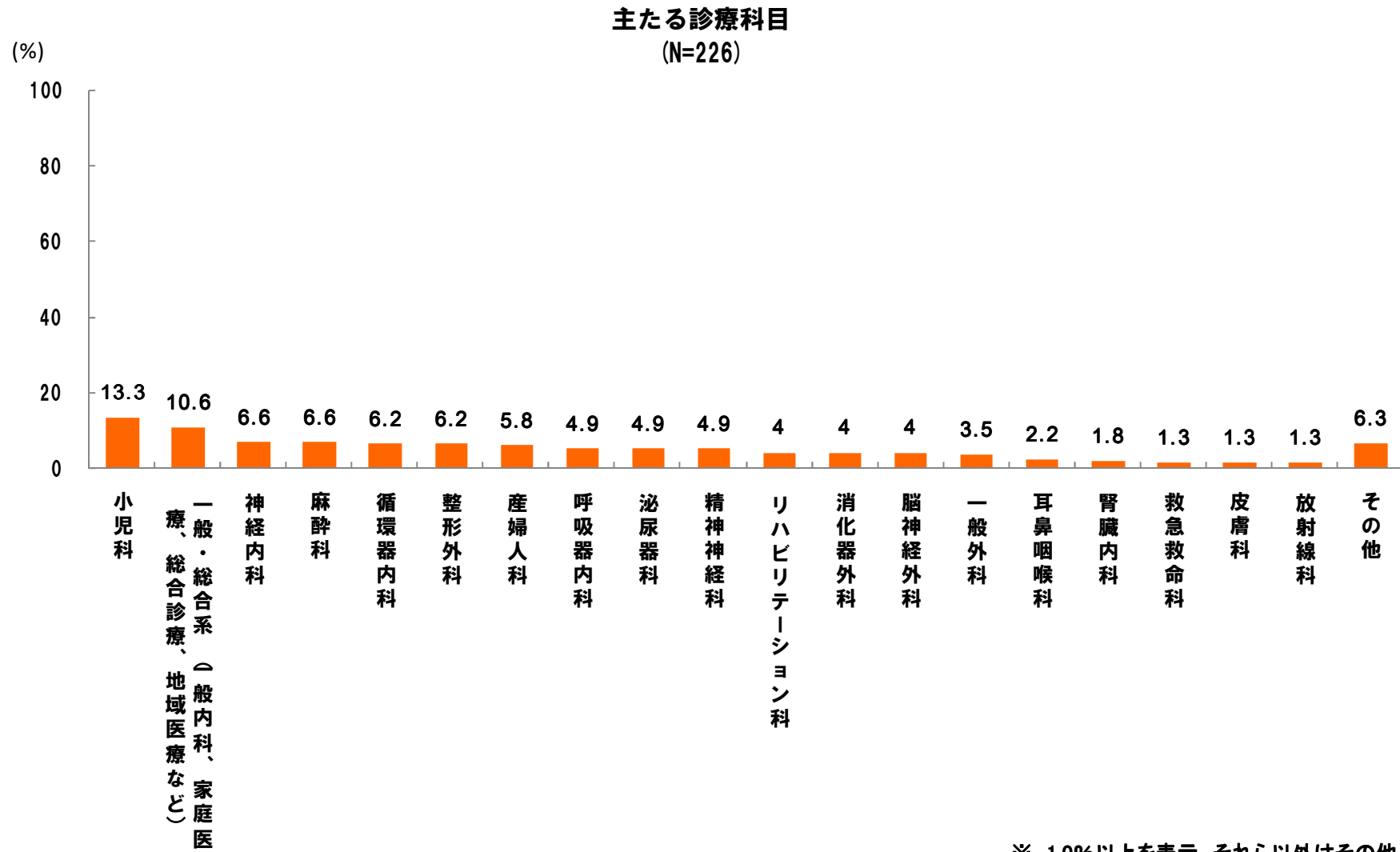


2. 回答者属性

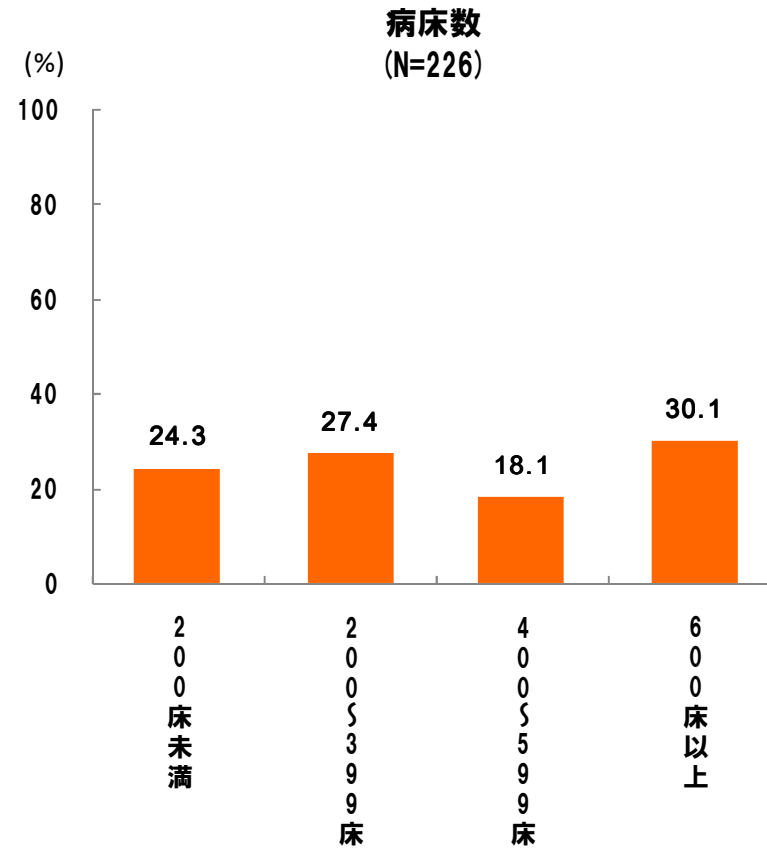
回答者属性（性別・年齢）



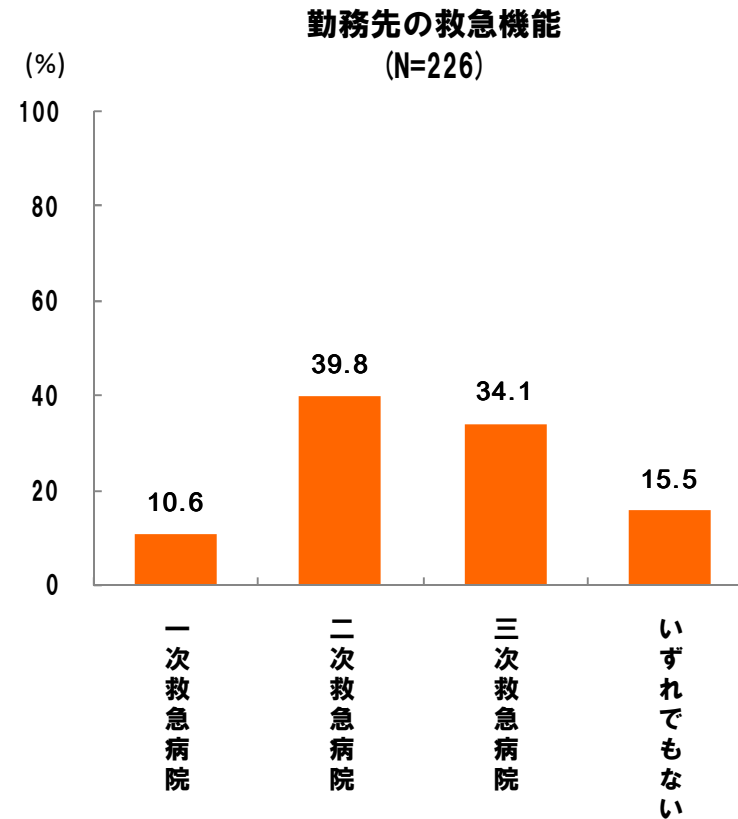
回答者属性（主たる診療科）



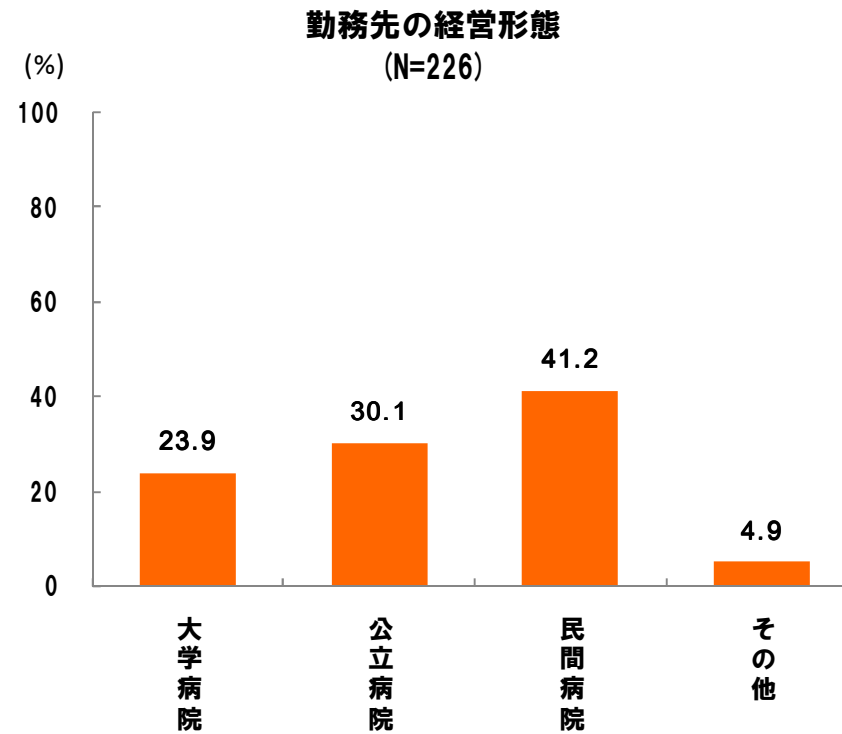
回答者属性（勤務先の病床数）



回答者属性（勤務先の救急機能）



回答者属性（勤務先の経営形態）



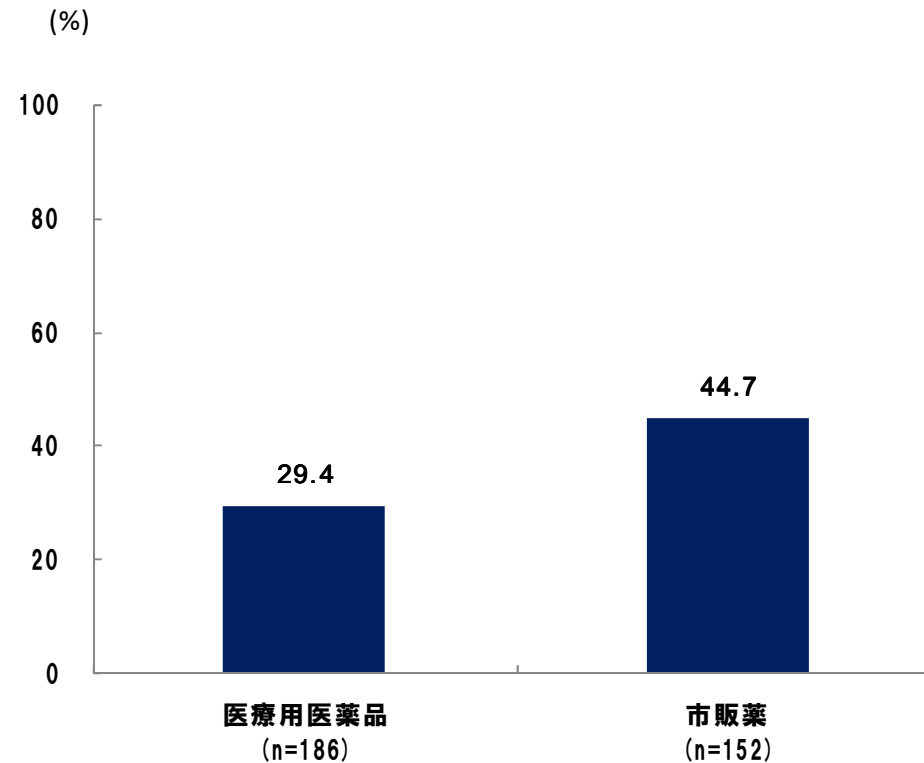
3. 調査結果（単純集計）

医薬品の商品名について

質問文

日常診療で遭遇する症例において、**医薬品(市販薬を含む)による有害事象を鑑別に挙げるケースのうち**、**医薬品の商品名が数分以内にわからないケース**はどの程度ありますか。医療用医薬品の場合と市販薬の場合に分けてお答え下さい。

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師



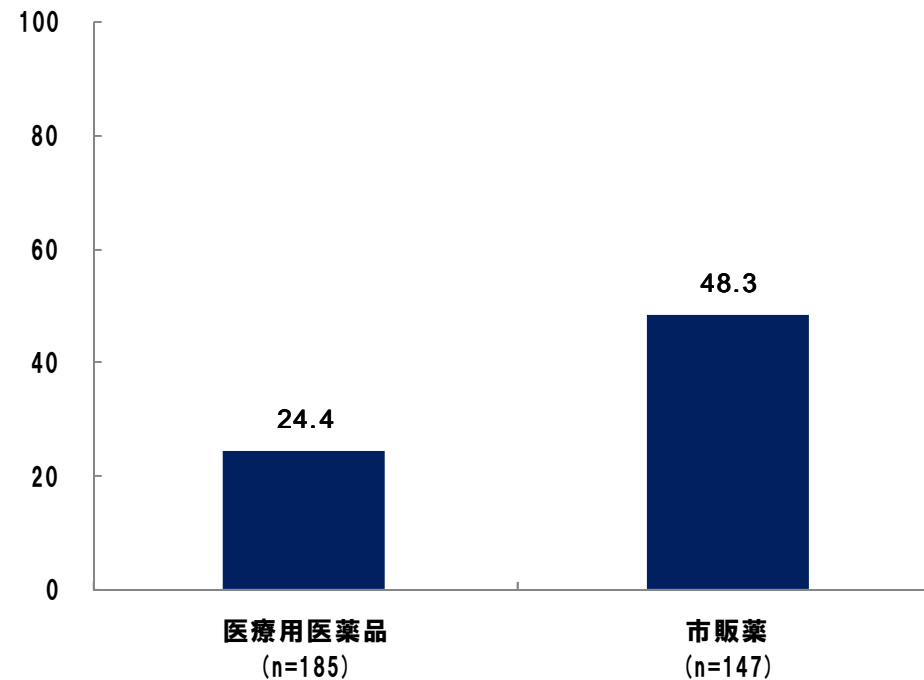
全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の成分について

質問文

医薬品の商品名がわかったケースのうち、その成分が数分以内にわからないケースはどのくらいありますか。医療用医薬品の場合と市販薬の場合に分けてお答え下さい。

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師
(%)



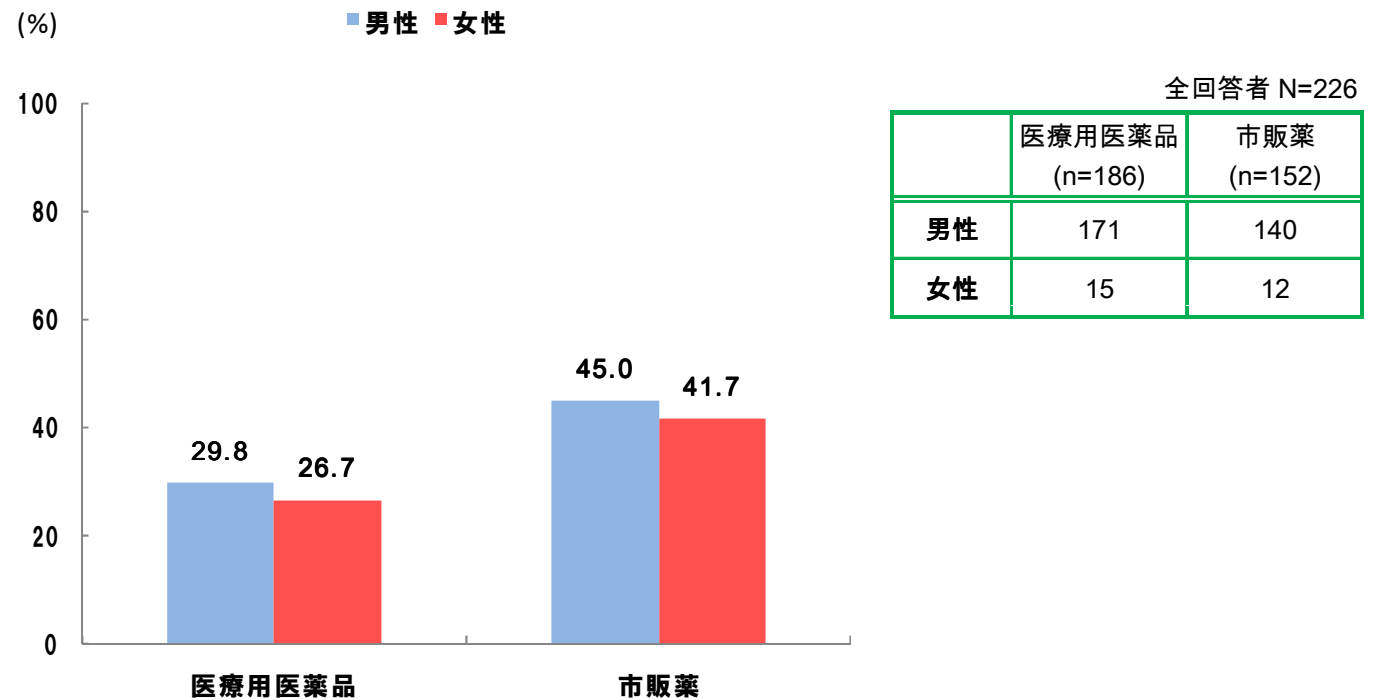
全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

4. 調査結果（クロス集計）

(1) 医薬品の商品名について

医薬品の商品名について（性別）

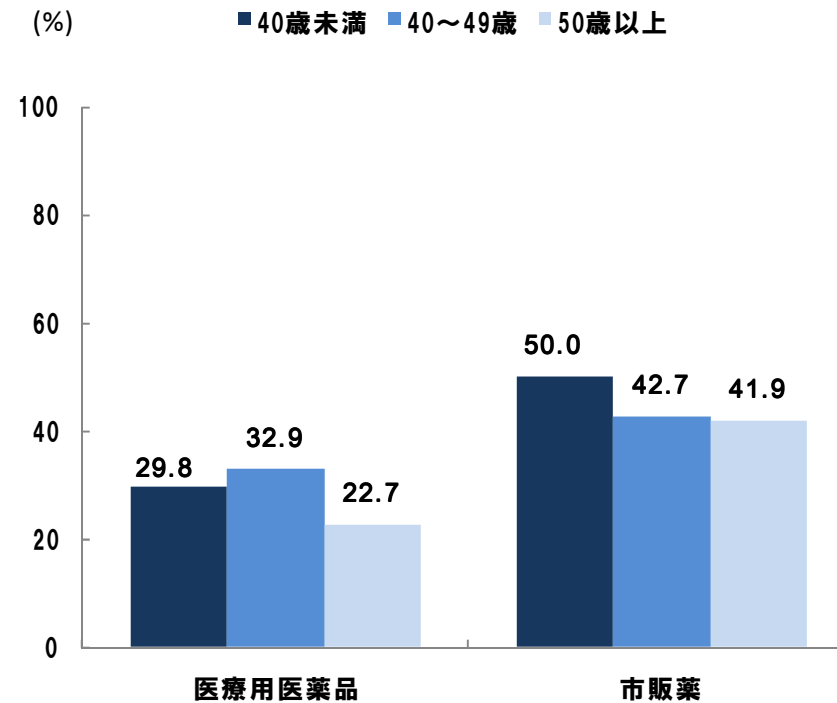
医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師



全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の商品名について（年齢別）

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師



全回答者 N=226

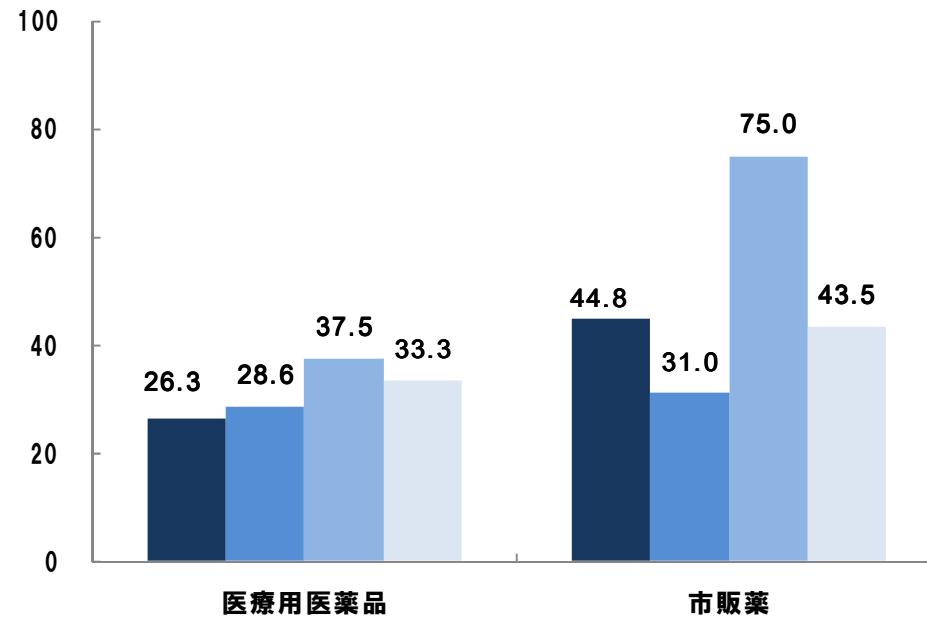
	医療用医薬品 (n=186)	市販薬 (n=152)
40歳未満	57	46
40～49歳	85	75
50歳以上	44	31

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の商品名について（診療科別）

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師

(%) ■内科系 ■外科系 ■小児科系 ■その他



全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=186)	市販薬 (n=152)
内科系	76	67
外科系	56	42
小児科系	24	20
その他	30	23

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

※ 内科系・・・一般・総合系（一般内科、家族医療、総合診療、地域医療など）・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・感染症科・内分泌内科・代謝内科・糖尿病科・血液内科・腫瘍内科・腎臓内科・神経内科・膠原病リウマチ科・アレルギー科・心療内科・老年科・リハビリテーション科

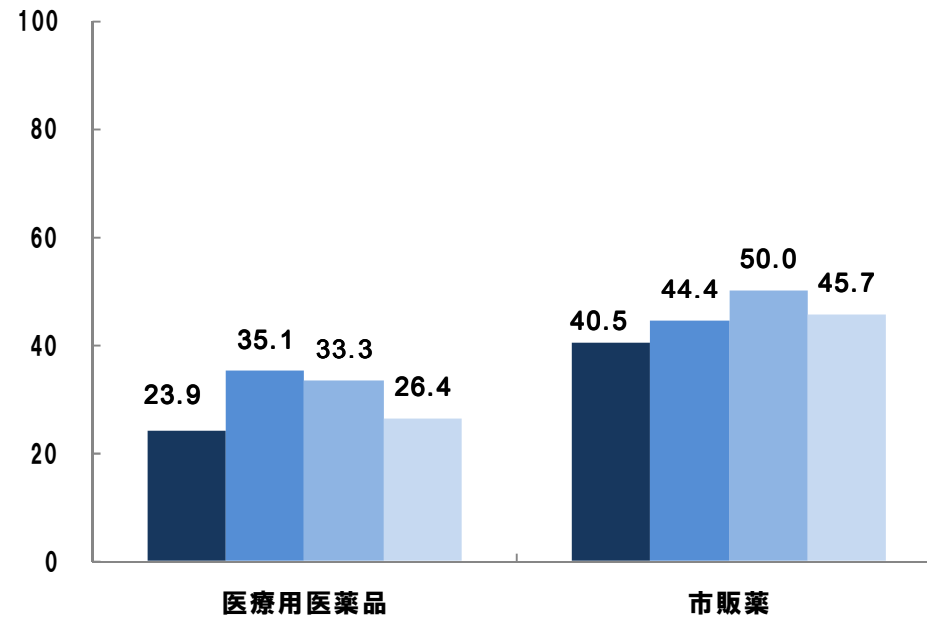
※ 外科系・・・一般外科・消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺外科・内分泌外科・人工臓器・移植外科・小児外科・整形外科・泌尿器科・脳神経外科・産婦人科・形成外科・美容外科

※ その他・・・麻酔科・集中治療科・救急救命科・ペインクリニック・緩和医療科・眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・放射線科・精神神経科

医薬品の商品名について（病床数別）

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師

(%) ■ 200床未満 ■ 200～399床 ■ 400～599床 ■ 600床以上



全回答者 N=226

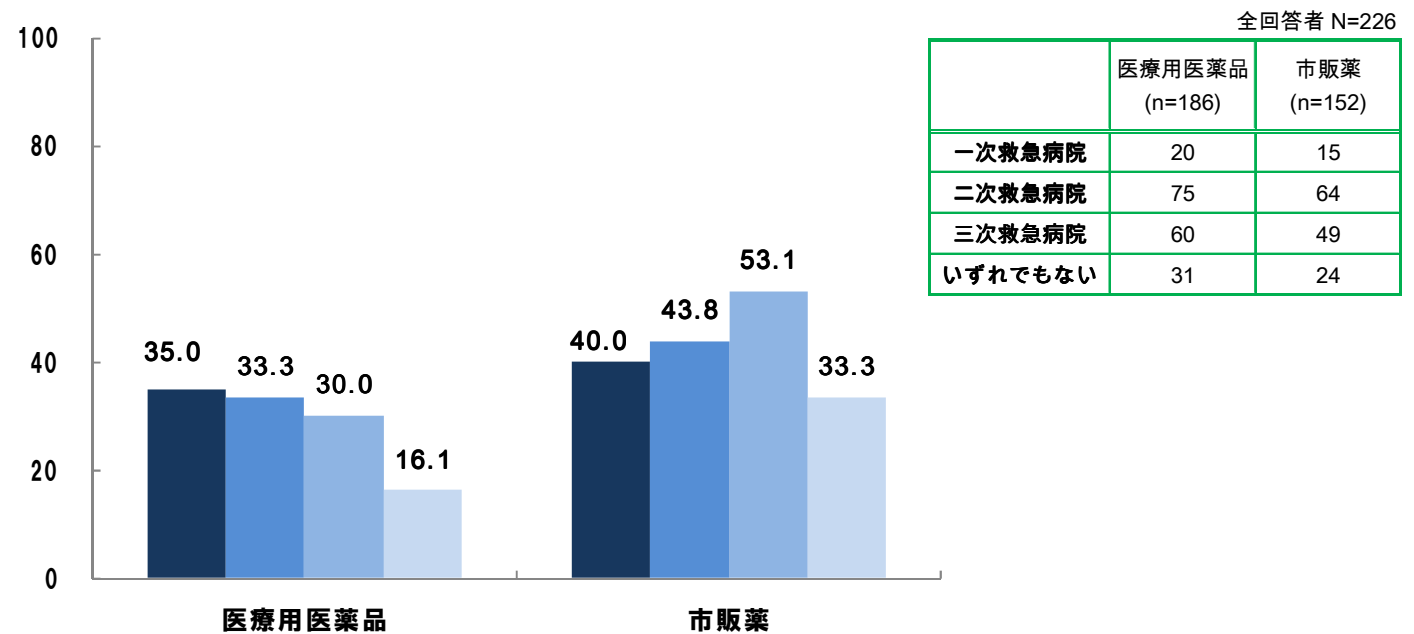
	医療用医薬品 (n=186)	市販薬 (n=152)
200床未満	46	37
200～399床	57	45
400～599床	30	24
600床以上	53	46

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の商品名について（救急機能別）

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師

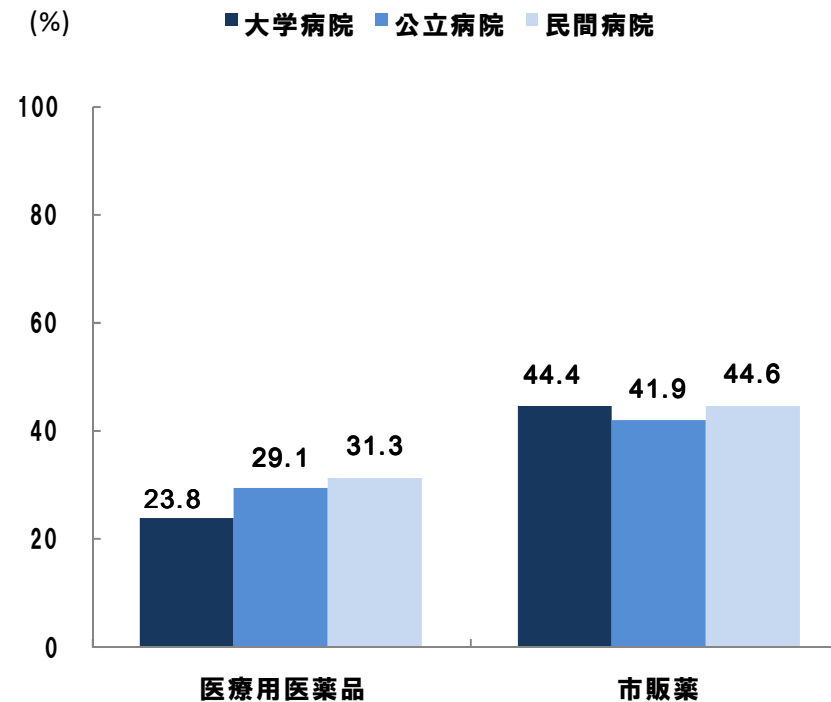
(%) ■ 一次救急病院 ■ 二次救急病院 ■ 三次救急病院 ■ いずれでもない



全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の商品名について（経営形態別）

医薬品の有害事象を疑うケースの半数以上で医薬品の商品名がわからないと回答した医師



全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=186)	市販薬 (n=152)
大学病院	42	36
公立病院	55	43
民間病院	80	65

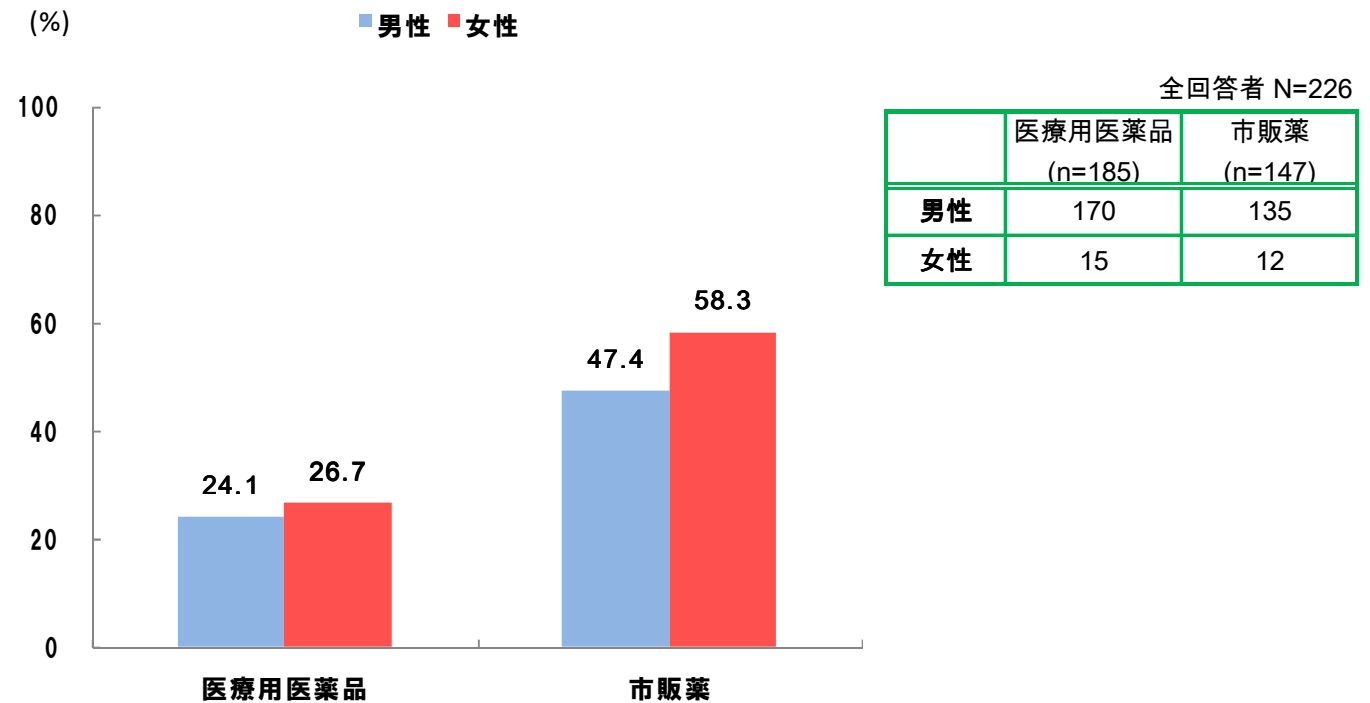
※ その他は回答数が少ないため省略

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに全く遭遇しないと回答した方が医療用医薬品で40名(17.7%)、市販薬で74名(32.7%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

(2) 医薬品の成分について

医薬品の成分について（性別）

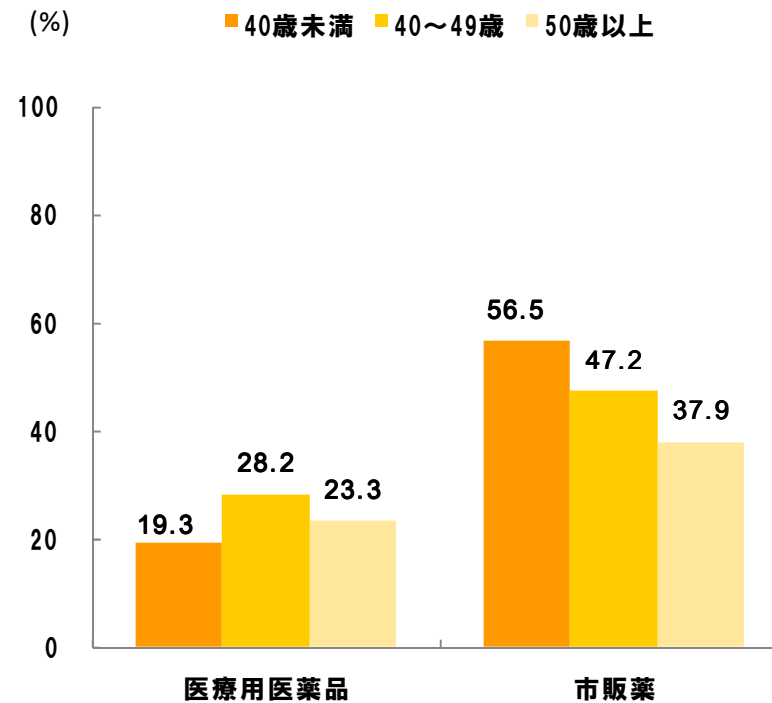
医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師



全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の成分について（年齢別）

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師



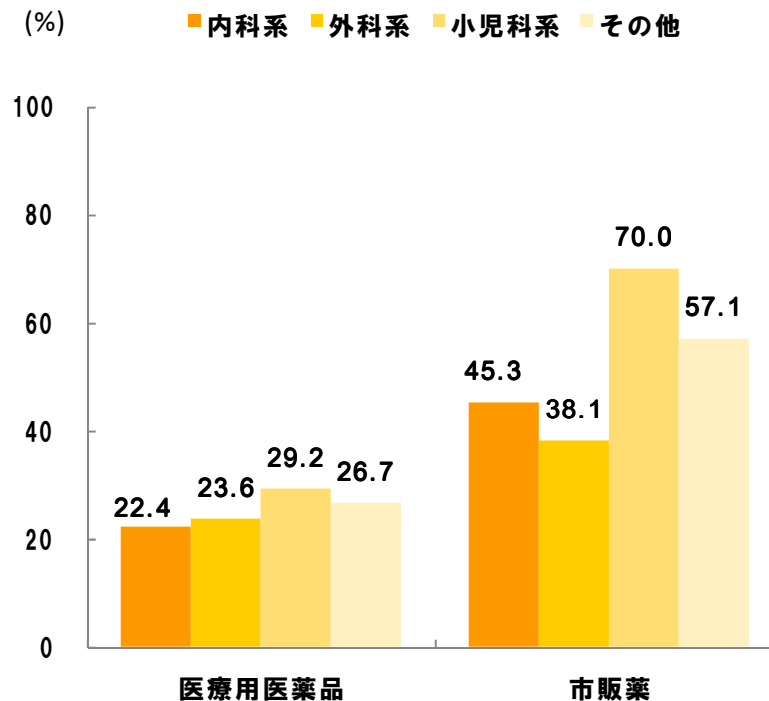
全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=185)	市販薬 (n=147)
40歳未満	57	46
40～49歳	85	72
50歳以上	43	29

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の成分について（診療科別）

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師



全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=185)	市販薬 (n=147)
内科系	76	64
外科系	55	42
小児科系	24	20
その他	30	21

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

※ 内科系・・・一般・総合系（一般内科、家族医療、総合診療、地域医療など）・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・感染症科・内分泌内科・代謝内科・糖尿病科・血液内科・腫瘍内科・腎臓内科・神経内科・膠原病リウマチ科・アレルギー科・心療内科・老年科・リハビリテーション科

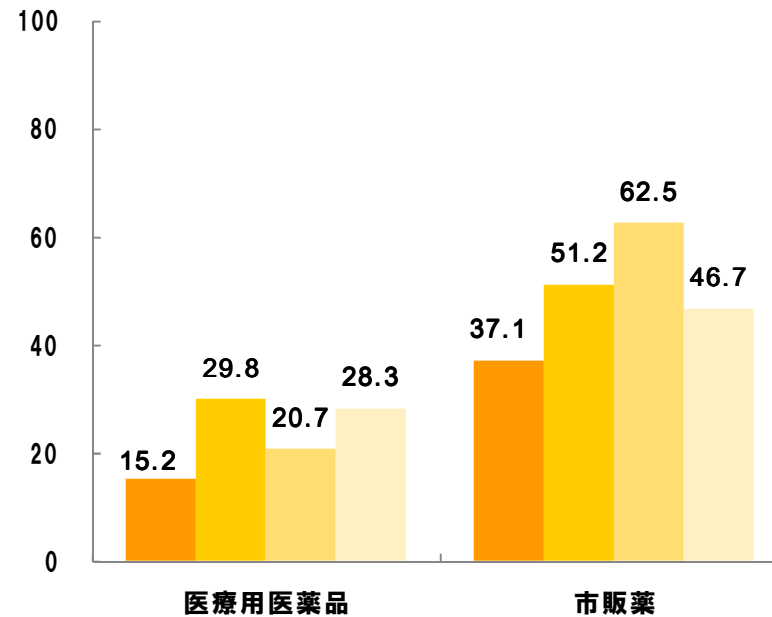
※ 外科系・・・一般外科・消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺外科・内分泌外科・人工臓器・移植外科・小児外科・整形外科・泌尿器科・脳神経外科・産婦人科・形成外科・美容外科

※ その他・・・麻酔科・集中治療科・救急救命科・ペインクリニック・緩和医療科・眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・放射線科・精神神経科

医薬品の成分について（病床数別）

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師

(%) ■ 200床未満 ■ 200~399床 ■ 400~599床 ■ 600床以上



全回答者 N=226

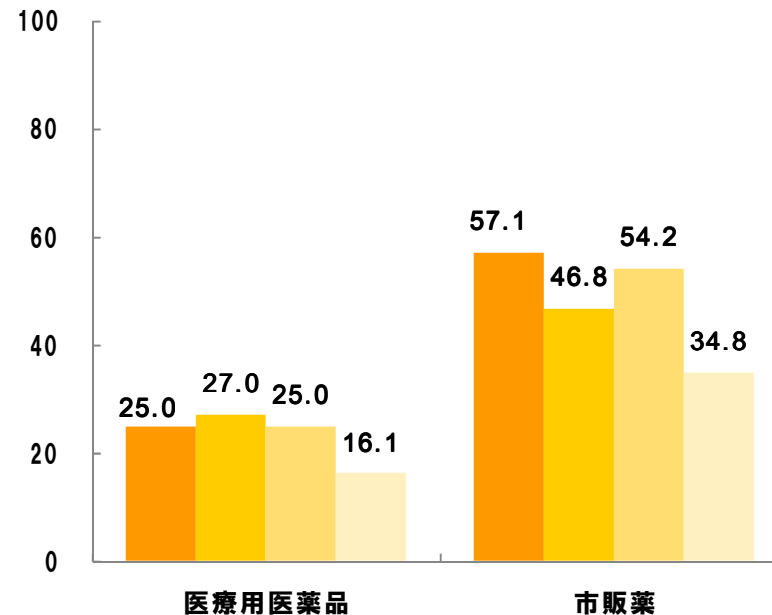
	医療用医薬品 (n=185)	市販薬 (n=147)
200床未満	46	35
200~399床	57	43
400~599床	29	24
600床以上	53	45

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の成分について（救急機能別）

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師

(%) ■一次救急病院 ■二次救急病院 ■三次救急病院 ■いずれでもない



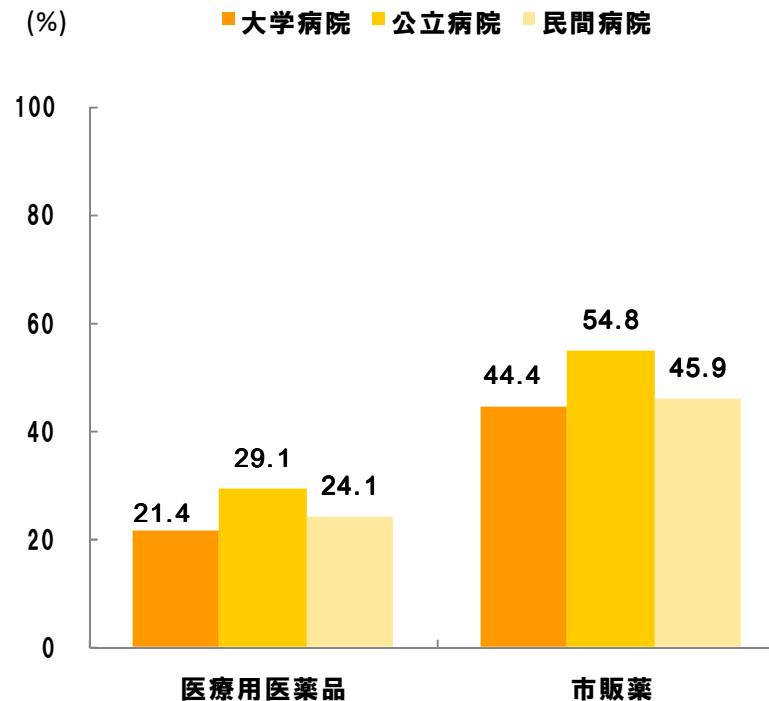
全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=185)	市販薬 (n=147)
一次救急病院	20	14
二次救急病院	74	62
三次救急病院	60	48
いずれでもない	31	23

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。

医薬品の成分について（経営形態別）

医薬品の有害事象を疑うケースで医薬品の商品名がわかったケースのうち
半数以上でその成分がわからないと回答した医師



全回答者 N=226

	医療用医薬品 (n=185)	市販薬 (n=147)
大学病院	42	36
公立病院	55	42
民間病院	79	61

全回答者226名のうち医薬品による有害事象を鑑別に挙げるケースに遭遇すると回答した方で商品名が100%わからないと回答した方は、
医療用医薬品で1名(0.5%)、市販薬で5名(3.3%)であった。その方々を除いた回答者数をベースとした。